

# 被災地域境界基本調査の概要と効果

## 実施対象地域

熊本地震の被災地域のうち、震源近辺の特に複雑な地殻変動が発生した地域。



## 作業内容

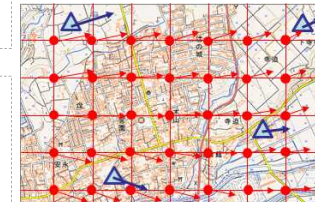
### ① 測量作業を実施

複雑な地殻変動が発生した地域において、地籍調査で設置した測量の基準点等(967点)で再測量を実施し、地殻変動を算出



### ② 補正パラメータの作成

再測量で算出した地殻変動量をもとに、地殻変動による土地境界情報(地籍図等)の現況とのズレを修正するための補正情報(補正パラメータ)を作成



### ③ 測量結果と補正パラメータの提供

市町村等に対して、測量結果(基準点等の正確な位置情報(緯度・経度等))を提供するとともに、地籍図等の位置情報を早期修正するための補正パラメータを提供

### 【市町村等による地籍図等の修正】

補正パラメータを用いて市町村等が地籍図等を修正。  
市町村等が行う公共基準点等の復旧にも本パラメータを活用可能。

## 地震後の復旧・復興事業における本事業の効果

復旧・復興事業の迅速かつ円滑な実施には、正確な土地境界情報を示す地籍図と測量の基準となる公共基準点等が必要

